

---

---

ボランティア活動に関するアンケート調査

# 報告書

---

---

令和7年1月

姫路市

(市民活動・ボランティアサポートセンター)

# 令和6年度 ボランティア活動に関するアンケート

## 1 アンケート内容

### (1) テーマ

ボランティアに関するアンケート

### (2) 目的

登録団体や登録個人ボランティア等の現在の活動状況や今後の展望、センターの利用状況、ニーズ等を把握し、今後のセンターの運営に活かすことを目的として実施する。

### (3) 対象

市民活動ボランティアサポートセンター登録個人	388人
登録団体	372団体

(内訳)

市民活動ボランティアサポートセンター登録団体 348

国際交流センター登録団体 15

あいめっせ登録団体 9

### (4) アンケート方法

郵送にて送付、回答は郵送およびWEBで受付

### (5) アンケート期間

令和6年8月5日(月)から令和6年8月31日(土)まで

## 2 回答状況

### (1) 有効回答数

個人 85

団体 188

### (2) 回答率

個人 21.9%

団体 50.5%

全体 35.9%

### (3) 回答集計

次ページ以降のとおり

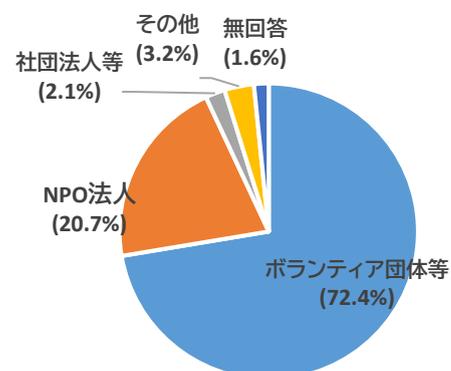
# — 団体編 —

## I 団体の概要について

### Q1 貴団体についてお聞かせください。

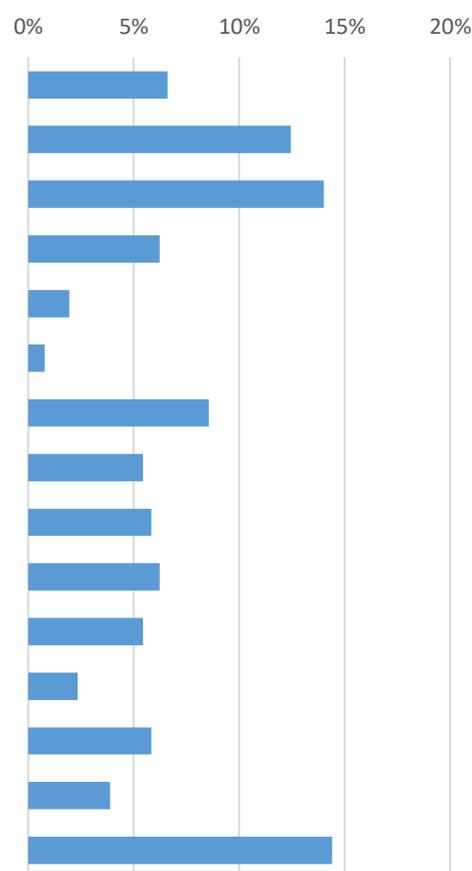
#### ■ 団体種別

① 法人化していない市民活動・ボランティア団体	136	(72.4%)
② NPO法人	39	(20.7%)
③ 社団法人・一般社団法人	4	(2.1%)
④ その他	6	(3.2%)
⑤ 無回答	3	(1.6%)



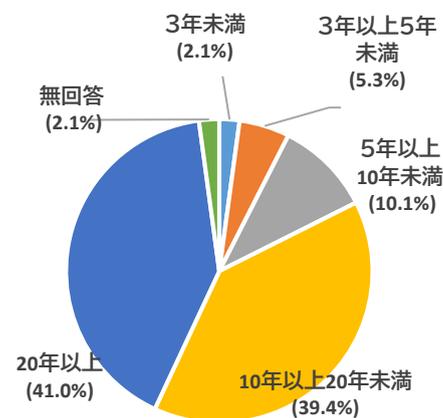
#### ■ 活動内容(複数回答可)

① 清掃活動・自然保護などの環境分野	17	(6.6%)
② 青少年育成などの教育分野	32	(12.5%)
③ 地域団体と連携するなどの地域に根ざした活動	36	(14.0%)
④ スポーツの普及や施設訪問でのレクリエーション活動	16	(6.2%)
⑤ 防犯・防災・交通安全	5	(1.9%)
⑥ 災害支援	2	(0.8%)
⑦ 高齢者や障がい者への福祉活動	22	(8.6%)
⑧ まちづくり	14	(5.4%)
⑨ 子育て支援	15	(5.8%)
⑩ 人権教育・啓発活動	16	(6.2%)
⑪ 男女協働参画	14	(5.4%)
⑫ 景観や文化財を守る活動	6	(2.3%)
⑬ 国際交流	15	(5.8%)
⑭ 観光	10	(3.9%)
⑮ その他	37	(14.4%)



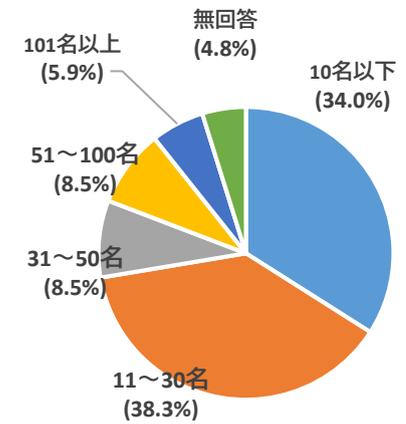
#### ■ 活動年数

① 3年未満	4	(2.1%)
② 3年以上5年未満	10	(5.3%)
③ 5年以上10年未満	19	(10.1%)
④ 10年以上20年未満	74	(39.4%)
⑤ 20年以上	77	(41.0%)
⑥ 無回答	4	(2.1%)



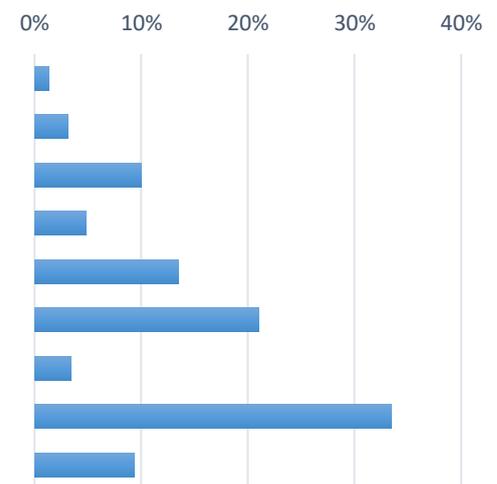
## ■ 会員数

① 10名以下	64	(34.0%)
② 11名から30名	72	(38.3%)
③ 31名から50名	16	(8.5%)
④ 51名から100名	16	(8.5%)
⑤ 101名以上	11	(5.9%)
⑥ 無回答	9	(4.8%)



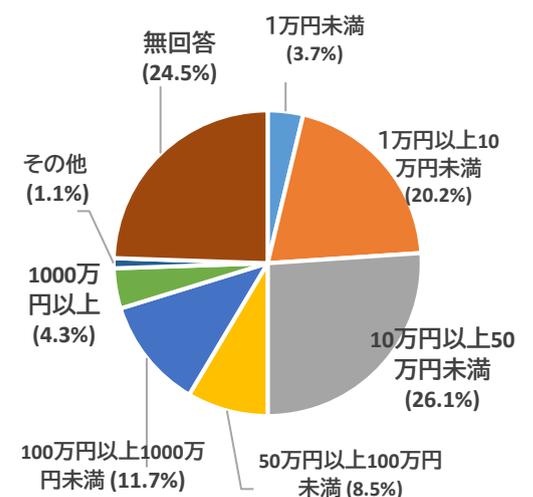
## ■ 会員の年齢層(主な年齢層2つまで選択可)

① 10歳未満	4	(1.4%)
② 10代	9	(3.1%)
③ 20代	29	(10.0%)
④ 30代	14	(4.8%)
⑤ 40代	39	(13.4%)
⑥ 50代	61	(21.0%)
⑦ 60代	10	(3.4%)
⑧ 70代	97	(33.4%)
⑨ 80代以上	27	(9.3%)



## ■ 令和6年度の年間活動予算

① 1万円未満	7	(3.7%)
② 1万円以上10万円未満	38	(20.2%)
③ 10万円以上50万円未満	49	(26.1%)
④ 50万円以上100万円未満	16	(8.5%)
⑤ 100万円以上1000万円未満	22	(11.7%)
⑥ 1000万円以上	8	(4.3%)
⑦ その他(未定、活動に応じて自己負担)	2	(1.1%)
⑧ 無回答	46	(24.5%)



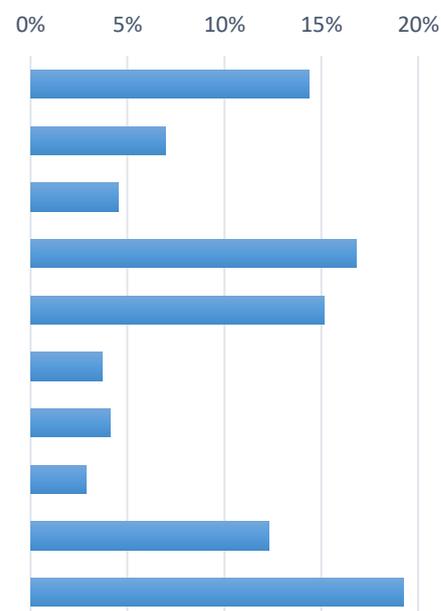
## II 活動状況と課題について

### Q2 事務作業や会議・打合せなど団体運営のための活動はどこでしていますか。

(複数回答可)

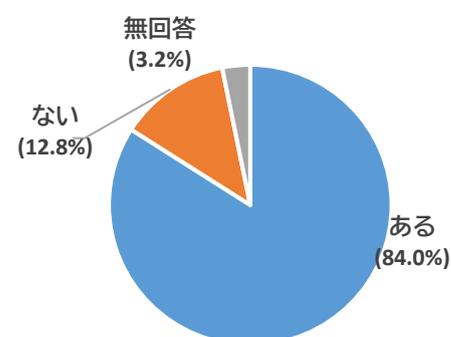
① 団体が所有する事務所	35	(14.3%)
② 市民会館7階活動室	17	(7.0%)
③ 市民会館会議室	11	(4.5%)
④ 姫路市立公民館	41	(16.8%)
⑤ 市民センター(市民広場)	37	(15.2%)
⑥ イーグレひめじ会議室	9	(3.7%)
⑦ 総合福祉会館	10	(4.1%)
⑧ 民間の会議室	7	(2.9%)
⑨ 個人宅	30	(12.3%)
⑩ その他(アクリエひめじ、WEB会議、図書館、総合庁舎	47	(19.3%)

自治会集会所、ファミレス、喫茶店など)



### Q3 場所に関する問題がありますか。

1 ある	158	(84.0%)
2 ない	24	(12.8%)
3 無回答	6	(3.2%)



### ■ あると答えた方にお尋ねします、どのような問題ですか。

(駐車場など)

- ・ ご厚意でお借りしている活動場所は駐車場が少なく、住宅街の為人が集まりにくい。古くて修理の必要がある。
- ・ 駐車場がない。(少ない。)
- ・ ほとんどないが、活動先で駐車場スペースを確保してもらえないときがある。繰り返される場合は、その旨伝えている。

(経費)

- ・ 駐車場代が高い。
- ・ 財政基盤が不安定で、使用料が負担になっている。
- ・ 活動場所まで行く費用がかかる。
- ・ 少人数で集まる場合でも会場費が高い。
- ・ 事務室を借りていた時は賃料が高く、賃貸をやめると物をおく場所もない。個人宅になってしまう。

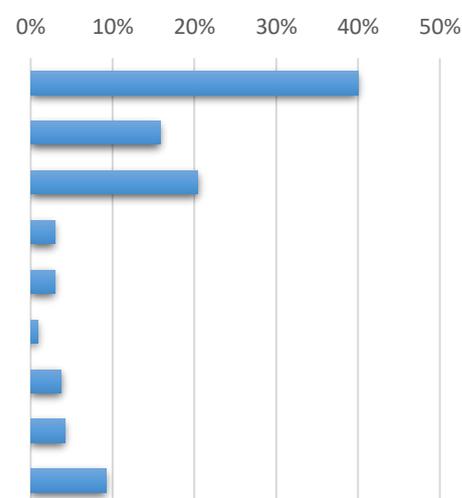
(その他)

- ・ 公民館使用の場合、年間を通しての予約ができないために、都度予約が必要。
- ・ 地理的に、免許返納者は退会になってしまう。問題だが、支援先を離れられない。
- ・ 会議等を行う場合、会員の住所が中播磨地域に分散しているため、平等に集える場所が確保できずにいる。
- ・ 夜間に楽器演奏可能な場所が少ない。
- ・ 練習場所の確保が難しい。

- ・ エアコンがないので、熱中症対策に気を付けている。
- ・ 専用事務所がほしい。
- ・ 登山道のイノシシによる被害。
- ・ 公民館が改修工事のため、来年度使用できない。

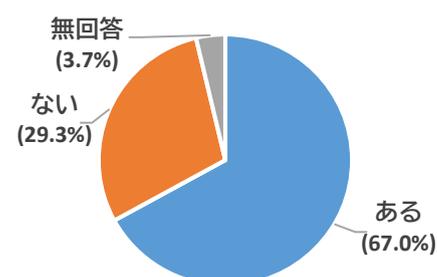
#### Q4 活動に必要な「資金」を主にどこから得ていますか。(2つまで選択可)

① 会費・入会金	96	(40.0%)
② 自主的な事業活動による収入	38	(15.8%)
③ 行政機関からの補助金・助成金	49	(20.4%)
④ 民間からの補助金・助成金	7	(2.9%)
⑤ 行政機関からの委託業務など	7	(2.9%)
⑥ 民間団体からの業務委託など	2	(0.8%)
⑦ 寄付金	9	(3.8%)
⑧ とくにない	10	(4.2%)
⑨ その他(上部団体からの分担金、謝金をプール、チャリティバザー、自治会からの補助、支援施設からの補助等)	22	(9.2%)



#### Q5 資金に関する問題がありますか。

① ある	126	(67.0%)
② ない	55	(29.3%)
③ 無回答	7	(3.7%)

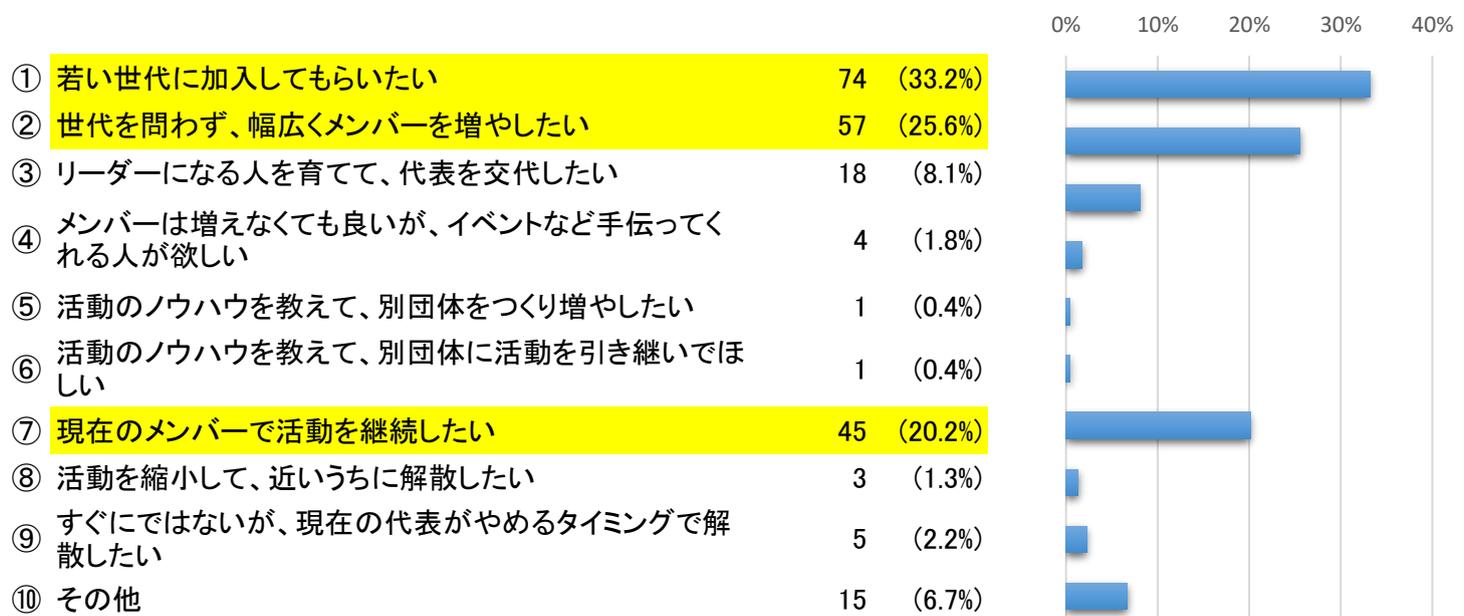


#### ■ あると答えた方にお尋ねします、どのような問題ですか。

- ・ コロナ以降、参加者が極端に減り会費収入が激減。
- ・ 福祉施設や地域の皆様に毎年喜んで頂く為に、衣装や、オリジナルの曲や、振り付けなどにお金はかける。
- ・ 普段の活動には支障ないが、機器類が故障したりすると困る。材料費等の高騰による資金不足。
- ・ 助成金の獲得が難しい。補助金、助成金が減っている。
- ・ 資金の確保が継続的にできなくなることへの不安。
- ・ 地元要望でできた施設で、市からの助成金等はなし。法人税は当然収めているのに、中小企業として認められず、新型コロナ時の助成金は、ゼロ。最低賃金も守っており、年々上昇している。企業としての義務は果たしているのに権利が減っている。当団体は地元6自治会が主体となって設立された組織なので、一般企業に比べて地域住民の為に努力しているのに活動を認めてもらってない。立場が低い。ある意味差別を受けている感が大きい。
- ・ 会員減少により資金減。事務所の維持費、諸経費の負担が大きい。
- ・ 今は、ほぼ行政の助成金に依存しているので、多様な資金源を得たい。
- ・ 今は会員がお金を出し合っってボランティアをしている状況だが、資金補助をしてほしい。
- ・ 何をするにもお金が必要。会員(相談者も)の当事者や親も経済的に苦しい。若者が活動の為に家から出るためには交通費や食費代が必要だが、会では支援しきれない。助成金を取るためにエントリーや書類の煩雑さに手が出せない。

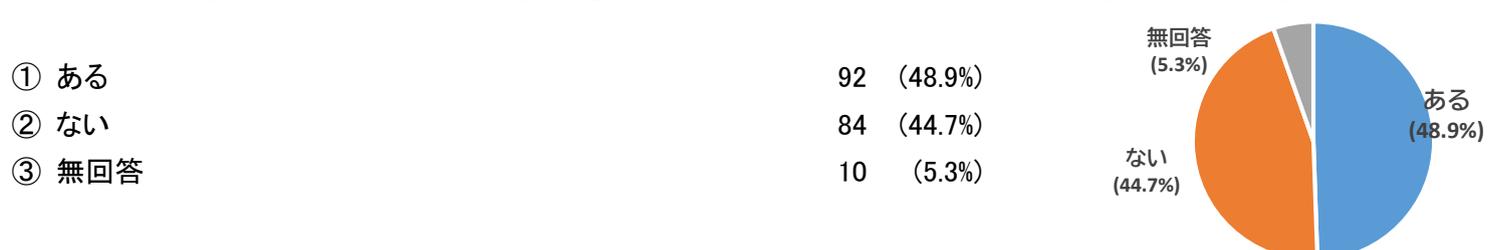
- ・ 毎年決まった補助があれば、会員の負担も減らすことができるが、補助してくれる団体がない。
- ・ 学習会を遠方で開催するとき、スタッフの交通費が捻出できればお手伝いを依頼しやすい。
- ・ パソコン設備の更新時には、福祉財団の助成金に依存する。
- ・ 活動資金が十分でない。自分たちで企画運営するには、資金が足りない。
- ・ 活動すればするほど、負担が大きくなっている。
- ・ 代表一人が担当している収益事業に資金を頼っているため、代表が収益事業をすることができなくなった時に資金がなくなる。
- ・ 資金が少ないため、活動家屋の補強ができない。建物の建て替えができない。
- ・ 行政機関からの助成金の減額・人手不足による事業縮小のため、収益を上げにくい。
- ・ 少しずつ補助金をもらえるようになってきたが、個人の負担が多いので大変。

## Q6 人材確保等を含めて、今後の団体活動についてどうお考えですか。(2つまで選択可)



- ・ 代表以外のメンバーで別団体を作り、活動を続けてほしいと伝えている。
- ・ 学生が多いので、その都度状況に応じて募集し、入れ替わりながら活動を継続していきたい。
- ・ 役職は1年交代なので問題はないが、役につきたくない人が増えている。
- ・ 必要とされニーズもあるので、解散を考えながら縮小しつつ継続。
- ・ 悩み中。活動は継続したいが、資金の問題があるため。
- ・ これからの時代、できるだけ年齢の上限をあえて決めずに、生涯現役で運営していきたい。「リタイヤされた方の経験を 生かした職場環境づくり」「老後の健康寿命の為の職場環境づくり」をテーマに運営していきたい。
- ・ 利用者の特性が変わってきているので、活動の見直しが必要かもしれない。

## Q7 Q6の質問に関連して、何か具体的に始めている(始めたい)ことはありますか。



■ あると答えた方にお尋ねします。その内容を具体的にご記入ください。

(広報、PR活動の工夫)

- ・ 市民センターにポスターを掲示したり、夏ボラ、ヒメボラなどセンター事業に参加してPR。
- ・ 広報誌「燈台」を活用し、人材の確保に努めていきたい。
- ・ HP等でPRしているが、なかなか効果が出ない。
- ・ インスタなどSNSでの広報。広報誌やチラシなどの作成。
- ・ 年2回、新聞社廻りをし、掲載を依頼。
- ・ 多くの人に知ってもらうため、団体のSNSを始める予定。  
夏ボラやひめボラ・あいめっせフェス・フリーマーケットに参加して活動をPRしている。
- ・ 姫路市広報に会員募集を年一回掲載 インスタグラムで活動写真掲載している。
- ・ 活動をしてくれそうな人に声掛けしている。自治会だよりに募集記事を掲載。
- ・ 個人声掛けで会員の拡大をはかっている。すぐに会員増は難しいのが現状。
- ・ 自主開催のイベントでPRする。
- ・ 大学その他、地域住民に参加してもらったり、活動内容をPRしている。
- ・ 独自に市内の公民館での啓発活動をしている。少しでも知ってもらい、理解してもらいたいと思って活動している。

(活動スタイルや内容の工夫)

- ・ 毎月2回の活動(第2、第4月曜)を、第2土曜日を活動日として現役世代を勧誘したところ、5名の新規会員ができた。
- ・ 活動場所を小さくする。プランター等古い物は撤去していくなど、負担減をはかる。県関係のプランター花壇等の縮小と撤去の話を進めている。また、市関係のものも今後減らしていく方向で話を進める予定。
- ・ ガイドの勉強会を毎月木曜日から土曜日午後に変えて幅広く参加出来るようにした。
- ・ 強制感なく、繋がりを意識してよかったですと思います。
- ・ スケジュールは早めに決定し、メンバーに仕事の休みの調整をしてもらっている。
- ・ 活動紹介を兼ねて、メンバー以外の人を招待する。例会の開催。
- ・ 姫路市の活動だけに限定せず動くことで、広域の展望が望めることを期待している
- ・ 代表による「演劇ワンコインレッスン」の開催(2か月に1回程度)あいめっせに参加して、PRしている。
- ・ 養成講座を開催し、その後活動に参加してもらっている。

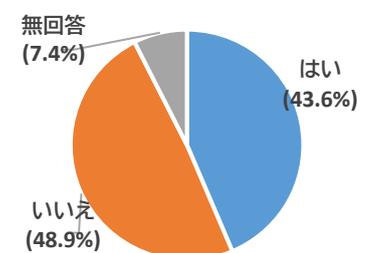
(その他)

- ・ 職員の育成。
- ・ 健康な方であれば年齢に上限は決めてない。ただ、作業に支障が出る出ないで、ご本人との相談で継続かは決定。
- ・ 人材登用の制度設計、就業規則の見直し。
- ・ スポンサーになってくれるところがないか、模索中。

Q8 他の団体や組織(民間企業、社協など)との連携や協働をしましたか。

またはしていますか。

① はい	82	(43.6%)
② いいえ	92	(48.9%)
③ 無回答	14	(7.4%)



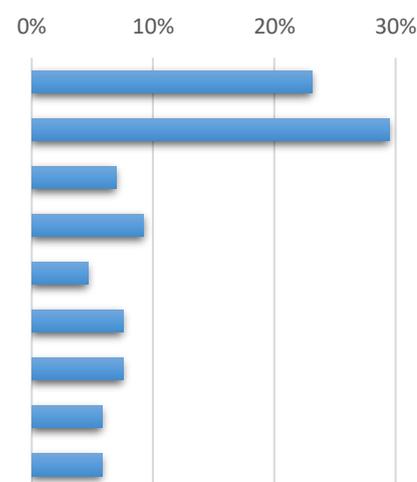
## Q9 Q8で「1. はい」と答えた団体様にお尋ねします。

### (1)相手の団体名、もしくはどのような活動をしている団体ですか。

- ・ 兵庫県地域活動連絡協議会、姫路市地域活動連絡協議会、全国地域活動連絡協議会、児童センター
- ・ ボラ活団体からの直接依頼がほとんどだが、社協からの依頼もあるため、常日頃から公共機関との連携、連絡をおろそかにしないように心がけている。
- ・ 自身の活動と同様の活動をしている団体(パラスポーツ、福祉、音楽、観光、国際交流、自然保護、朗読など)
- ・ 自身の活動内容と異なる活動をしている団体(イベント×ごみひろい、スポーツ×救命救急、障害福祉×中間支援NPO、ごみひろい×婚活事業者、観光ガイド×イベント会社、その他、自主事業開催時にステージ関連の団体に出演してもらうなど)
- ・ 姫路市(保健所、環境政策室、教育委員会、まちづくり指導課、文化国際課、保育所、総合センター等)
- ・ 中播磨県民センター、兵庫県
- ・ 社会福祉協議会、社会福祉事業団
- ・ 自治会
- ・ 民間企業
- ・ 大学、高等学校
- ・ 姫路市民生児童委員連合会
- ・ 社会福祉法人、NPO団体
- ・ 地域のまちづくり協議会、地域づくり推進協議会等
- ・ 姫路市少年補導委員、青少年健全育成協議会
- ・ 市商工会議所青年部、商工同友会
- ・ 兵庫県映画センター
- ・ 日本赤十字病院
- ・ 寄付や補助金を助成してもらっている団体

### (2)どのような内容ですか。(複数回答可)

① 情報交換会や交流会	40	(23.1%)
② イベントや行事等の共催	51	(29.5%)
③ 人材や機材の支援(貸し借り)	12	(6.9%)
④ 連絡会、協議会を設置	16	(9.2%)
⑤ 講師、専門家等の派遣	8	(4.6%)
⑥ 寄付、助成金、物品の受領	13	(7.5%)
⑦ 事務室の共同使用や活動場所の提供	13	(7.5%)
⑧ 広報の協力(SNSでイベント告知の拡散など)	10	(5.8%)
⑨ その他(イベント内でコラボ、イベント告知・チケット販売、活動の視察、福祉マップ制作など)	10	(5.8%)



### (3)どのようなきっかけで始めましたか。

- ・ 同業なので、協働事業を行うことから始まった。
- ・ 県の地域づくり事業の中で。
- ・ 先方からの依頼、地域でのつながり。
- ・ 長年の付き合い。
- ・ これまでの活動で多くのご縁を繋いできたため。社会貢献のひとつとして。
- ・ 団体運営に悩んでいる時に相談に行ったのがきっかけ。

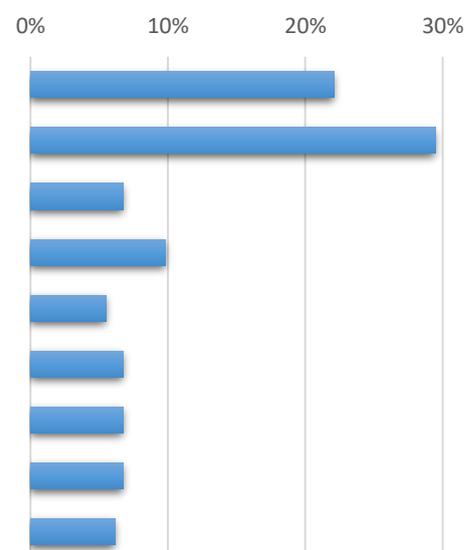
- ・ 地域の複数の自治会が主となって立ち上げた団体なので、地元からの相談を受けたり協議する中で始まる。
- ・ 自身の団体からのアプローチ。
- ・ 自身の団体が所属する団体の全国的な本部組織にあたるため。
- ・ 情報交換しようと集まったこと。
- ・ 補助金申請。
- ・ スタッフが積極的に交流会や勉強会に参加して、声掛けをした。
- ・ メンバーが他の組織の構成員でもあり、その関連で交流ができた。
- ・ ずいぶん前から既に一緒に活動していた。支援し、目指す方向が同じだったからではないかと思う。
- ・ 他市の保険課に出向いた。
- ・ 団体からの発信情報、直接の依頼。
- ・ 代表が両団体で同じ。方向性が同じなので共催することで集客・駐車場・資金等いろんな問題が解決される。
- ・ 人口流出減少に伴い、地域を活性化したいとの思いから声をかけられ始まった。
- ・ 友人の紹介。それぞれの講師が知り合いだった。
- ・ 法人設立時に協力してもらった。
- ・ 相手方の活動内容が知りたくてアプローチした。
- ・ ある活動で一緒になり、別の活動も一緒に盛り上げることになった。
- ・ 地域サロンでの講師を探すため相談に行ったのがきっかけ。資金がなく物品購入のため助成金申請を応募。
- ・ 行政が何もできないから。DMOを取得したにも関わらず。
- ・ 活動場所を探していて相談に行ったことがきっかけ。また、行政に対しては、後援や広報の協力を依頼して。
- ・ 先方の代表と知り合い、活動内容に共感したので。
- ・ 阪神淡路大震災をきっかけに。
- ・ 大学側へチラシ掲示の依頼をして協力していただけたことから。

#### (4) 今後、新たに連携・協働したい団体などがあれば、どのような相手かご記入ください。

- ・ 姫路市(保健所、教育委員会、観光関連部署、産業振興課、環境系部署など)
- ・ 社会福祉協議会
- ・ 兵庫県
- ・ 自身の活動と同様の活動をしている団体(高齢者福祉、古典芸能、パラスポーツなど)
- ・ 大学などの言語聴覚士養成機関
- ・ 防犯協会、交通安全協会等
- ・ 障がい者施設
- ・ ITを専門とする団体
- ・ 本気度のある行政機関
- ・ まちづくり協議会
- ・ 地縁団体
- ・ 団体の特性をご理解の上で、若者の社会体験をさせて頂ける団体や企業など。  
民生委員や自治会 SSW ファイナンシャルプランナー 行政書士・弁護士 など。
- ・ 「妊娠を困りごとにしたくない」ためにご理解のある方や団体「性教育」「助産師」「産科・婦人科」「保健師」さんたち。
- ・ 医師会(ボランティアでの大会への医師、看護師派遣)
- ・ 姫路市保健所、子育てひろば等・・・食物アレルギー発症予防、スキンケアの大切さ、治療法等まだまだご存知ない方が多い。幸い姫路は、アレルギー治療が他地域に比べて受けやすい環境にある。特に妊婦さん、乳幼児の保護者の方に知っていただく機会があれば病院受診につなげられ私たちのように悩む人が減ると思う。

(5) (4)で答えた団体とどのような内容で、連携・協働したいですか。(複数回答可)

① 情報交換会や交流会	36	(22.1%)
② イベントや行事等の共催	48	(29.4%)
③ 人材や機材の支援(貸し借り)	11	(6.7%)
④ 連絡会、協議会を設置	16	(9.8%)
⑤ 講師、専門家等の派遣	9	(5.5%)
⑥ 寄付、助成金、物品の受領	11	(6.7%)
⑦ 事務室の共同使用や活動場所の提供	11	(6.7%)
⑧ 広報の協力(SNSでイベント告知の拡散など)	11	(6.7%)
⑨ その他	10	(6.1%)

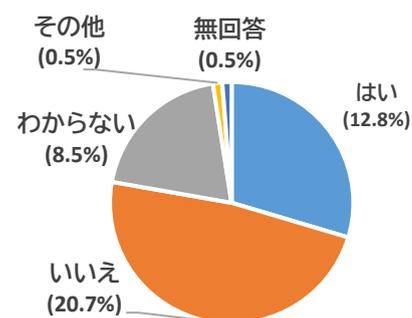


- ・勉強会や実際の支援の為にノウハウや協力
- ・当事者の親亡き後 生きていくためのスキルやつながり
- ・公共施設の管理運営
- ・学生に心肺蘇生法の指導 など
- ・ごみひろいによるスタンプラリー

Q10 Q8で「2. いいえ」と答えた団体様にお尋ねします。今後の連携・協働についてどうお考えですか。(有効回答数91)

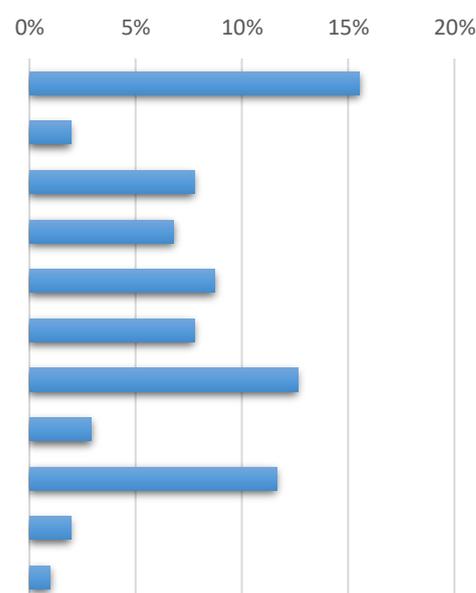
(1) 今後、他の団体と連携・協働したいと考えていますか

① はい	24	(12.8%)
② いいえ	39	(20.7%)
③ わからない	16	(8.5%)
④ その他	1	(0.5%)
⑤ 無回答	1	(0.5%)



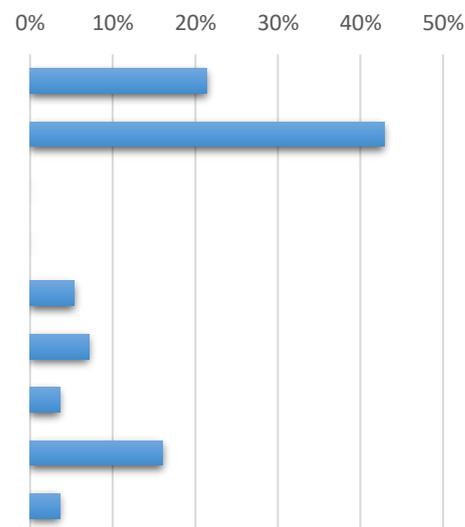
(2) どのような相手と連携・協働したいですか(複数回答可)

① 同様の活動をしている団体	16	(15.5%)
② 違う活動をしている団体	2	(1.9%)
③ 社会福祉協議会	8	(7.8%)
④ 自治会	7	(6.8%)
⑤ こども会	9	(8.7%)
⑥ 老人クラブ	8	(7.8%)
⑦ 行政(市町村)	13	(12.6%)
⑧ 行政(県・国)	3	(2.9%)
⑨ 学校・教育機関	12	(11.7%)
⑩ 民間企業	2	(1.9%)
⑪ その他(各言語教育者)	1	(1.0%)



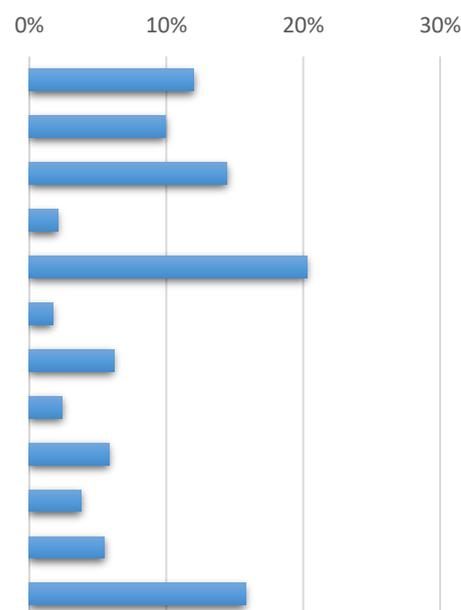
(3) どのような内容で、連携交流したいですか(複数回答可)

① 情報交換会や交流会	12	(21.4%)
② イベントや行事等の共催	24	(42.9%)
③ 人材や機材の支援(貸し借り)	0	(0.0%)
④ 連絡会、協議会を設置	0	(0.0%)
⑤ 講師、専門家等の派遣	3	(5.4%)
⑥ 寄付、助成金、物品の受領	4	(7.1%)
⑦ 事務室の共同使用や活動場所の提供	2	(3.6%)
⑧ 広報の協力(SNSでイベント告知の拡散など)	9	(16.1%)
⑨ その他(草花に関わる団体と、苗の交換・情報交換など)	2	(3.6%)



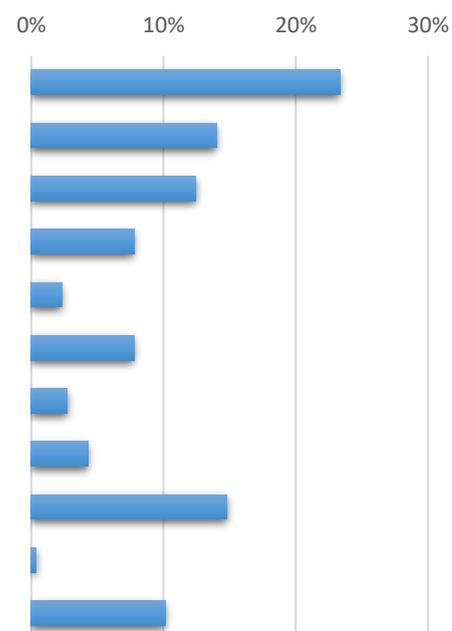
Q11 活動に必要な情報をどこから入手していますか。次の中からよくご利用になるもの3つまでに○をご記入ください。

① センター公式HP「市民活動ネットひめじ」	35	(12.0%)
② 姫路市公式HP	29	(10.0%)
③ 広報ひめじ	42	(14.4%)
④ 姫路市公式LINE	6	(2.1%)
⑤ ひめじNPO・ボランティア通信	59	(20.3%)
⑥ 社会福祉協議会のHP	5	(1.7%)
⑦ 広報誌 ひめじの社協	18	(6.2%)
⑧ ひょうごボランタリープラザのHP	7	(2.4%)
⑨ 県や他市町のHP	17	(5.8%)
⑩ Facebook	11	(3.8%)
⑪ Instagram	16	(5.5%)
⑫ その他(メール、他団体の広報誌、行政、日赤、福祉施設 人材サービス企業、自治会、NPO法人の繋がりや協議会、 知人やメンバーからの情報等)	46	(15.8%)



Q12 ご自身の団体活動の情報はどうに発信(PR)していますか。次の中からよくご利用になるもの3つまでに○をご記入ください。

① 団体が運営するHP	60	(23.3%)
② 団体のFacebook	36	(14.0%)
③ 団体のInstagram	32	(12.5%)
④ 団体のLINE	20	(7.8%)
⑤ YouTube	6	(2.3%)
⑥ 団体が発行する情報誌など	20	(7.8%)
⑦ センター公式HP「市民活動ネットひめじ」	7	(2.7%)
⑧ ひめじNPO・ボランティア通信	11	(4.3%)
⑨ ポスターやチラシ	38	(14.8%)
⑩ メールマガジンの発行	1	(0.4%)
⑪ その他(	26	(10.1%)



**Q13 活動を継続していく上で、困っていることや悩み事、または工夫していること、気を付けていることなどを自由にご記入ください。**

**○ 工夫している、気を付けている**

(運営方針)

- ・ 以前の課題は人材の確保でしたが、認知されたのかボランティアの参加希望が増えてきた。周りを巻き込んで、幅広く活動するためにも、プレずに地道にやっていく。(健康・啓発)
- ・ 細々とでも長く継続していけたらと思っています。周りの方のお力を借りながら社会全体でアレルギーなどのハンディキャップについて少しでも理解が深まっていく社会になったらいいなと思って活動しています。(食物アレルギー関係)
- ・ 親の介護の時期に入り、メンバーが欠けて活動しにくくなっている。今年は社協から2件依頼があったが、練習もままならないため折り合いがつかず保留状態。しかし、介護は仕方ないことなので、焦らず気長に楽しく音楽やボランティア活動を楽しもうと話している。(音楽)
- ・ お金、時間、関係性など無理のない団体運営。継続していける人の集まり方に注意している。
- ・ 人材不足と高齢化が見えているが、定期的な情報交換の場を持つようにしている。
- ・ 定期的会議の開催。

(活動方針)

- ・ 季節に合った食材で提供している。(ふれあい喫茶)
- ・ 地域に根付く為に様々な団体との交流している。子ども達の育成もあるので礼儀作法や、挨拶など基本的な常識を指導している。合わせて一生懸命に頑張る事の素晴らしさと助けあう精神を指導しています。(よさこい)
- ・ HPなど情報発信について、更新せず、生きてない発信にならないようにしている。
- ・ コロナ等感染症が出た場合、活動を延期していただいている。終息後、臨機応変に対応していただいている。児童施設の特性を理解していただき、支援していただいている。連絡ノートの活用及び直接面談を行い、悩みがあれば解決できるようやりとりしている。(学習支援)
- ・ メジャーなスポーツではないため、幅広い活動はできていない。年間少人数の方が活動に加わってくださるので、一人でも協力してくださる方がいる限り続けたい。まずは活動の雰囲気作りは重要であり、気軽に参加いただけるようにしていきたいと日々思っている。(パラスポーツ)
- ・ 養成講座を開いてもなかなか人が集まらなくなっている。公共の施設で無料の障がい者サービスなのに知られていない。しかし、未来にも活動をつなげていけるように、より積極的に世間にアピールしていく方法を考えている。体験イベントなど、市民、一般の方にも知っていただけるように努力していきたい。(朗読)
- ・ 主に市内の公民館で活動。会場には必ずイベント90分前に着いて準備。高座後は皆さんと交流の時間を作り、身近に落語を知っていただくよう努力している。(落語)
- ・ 子ども達に対しては、楽しいイベントを考え、親には気晴らしになるようなイベントを役員で話し合っている。

(研修・講座)

- ・ ガイド養成講座を開講。(観光ガイド)
- ・ 勤労者がガイディングの勉強会に参加できるように、勉強会を平日から土曜日午後に移動した。(観光ガイド)
- ・ 常に向上心を持って勉強する。プレゼン力をつけるよう、例会では発表の練習をしている。(観光ガイド)

(その他)

- ・ 同じ内容の活動をしている他の団体と合同で参加するような催しがあれば参加してみたい。
- ・ 老人クラブ、地域ふれあいサロンで演奏を電話等で直接受けている・定期演奏会の案内などを公民館等に掲示依頼したり、直接個々に手渡している。(音楽)

**○ 困っている、悩み事、課題**

(人材)

- ・ 会員は20数名と多いですが、行事への参加者が少なく、特に、団体を企画・運営できる人材に限られている。
- ・ 困難なこととして、代表者の代替わり後の組織内での意見統一。課題として、若い世代に新規役員になってもらうための工夫。
- ・ 会員の高齢化。人員不足、後継者の育成。

- ・ 会員減、高齢化。若い会員は共働きで活動ができないので高齢の方が頑張っている。zoomを取り入れて活動しているパソコンの操作は少しずつ慣れてきたができる人が少ない。活動の情報発信やお誘いをもっとできたらと思う。
- ・ 指導者不足(健常者のサポートが必要であるが、将来的には障害者同士で教え合えるようになればと思う。)会場の予約が取れないことがある。(ある程度の活動実績があり、今後も活動をするようであれば、会場の固定もあれば、ありがたい。)
- ・ 相談に適応な人材の不足、事務(会計・パソコン・チラシ等)がないので困っている。
- ・ 長く代表をしているが、後継者がいない。子育てが落ち着くと働きに出られる人がほとんど。
- ・ 登録しても活動できる人は半数ほど。また、活動していくにはやはり資格があった方がよいので、誰でも良いというわけにはいかない。養成講座は90時間と長期にわたり、受講できる人が限られてしまう。活動ややりがいもあり大切に継続していきたいが、メンバーの高齢化により担っていきけるかと心配になる。次の人を育てていきたいが、それもいまはあまり功を奏していないと感じている。そのためにもまず活動をたくさんの人に知ってほしいと思って活動している。

#### (資金)

- ・ 当団体は、市の施設建設にあたり、地元対策で地元が要望した施設になるが、運営に対する姫路市さんからの助成金、委託金はゼロ。法人税は当然収めているのに、中小企業として認めてもらえず、新型コロナ時の助成金は、ゼロでした。最低賃金も守っており、年々上昇です。経費削減のためには、スタッフの数を必要最小限で運営。スタッフへの負担が増えている。企業としての義務は果たしているのに権利が減っている。当団体は地元6自治会が主体となって設立された組織なので、一般企業に比べて地域住民の為に常にサービスするという努力をしているのに活動を認めて貰ってない。立場が低い。ある意味差別を受けている感が大きい。(まちづくり関係)
- ・ 年によって、助成金が出て活動できる時とできない時がある。
- ・ 交流会の開催場所、通信の発行発送に費用が掛かることが最大の課題。財政基盤を安定させるため参加者をどう増やすか。また活動内容の充実を図っていくことに参加者で検討している。
- ・ 活動の中心的事業を続けるためには資金が続かず、保育事業をやめた。事務室も返したので物の保管場所もない。お金をとってできる事業ととれない事業がある。取れない事業をするためには資金協力をしてくれるところがないと続けられない。

#### (参加者・活動機会の減少)

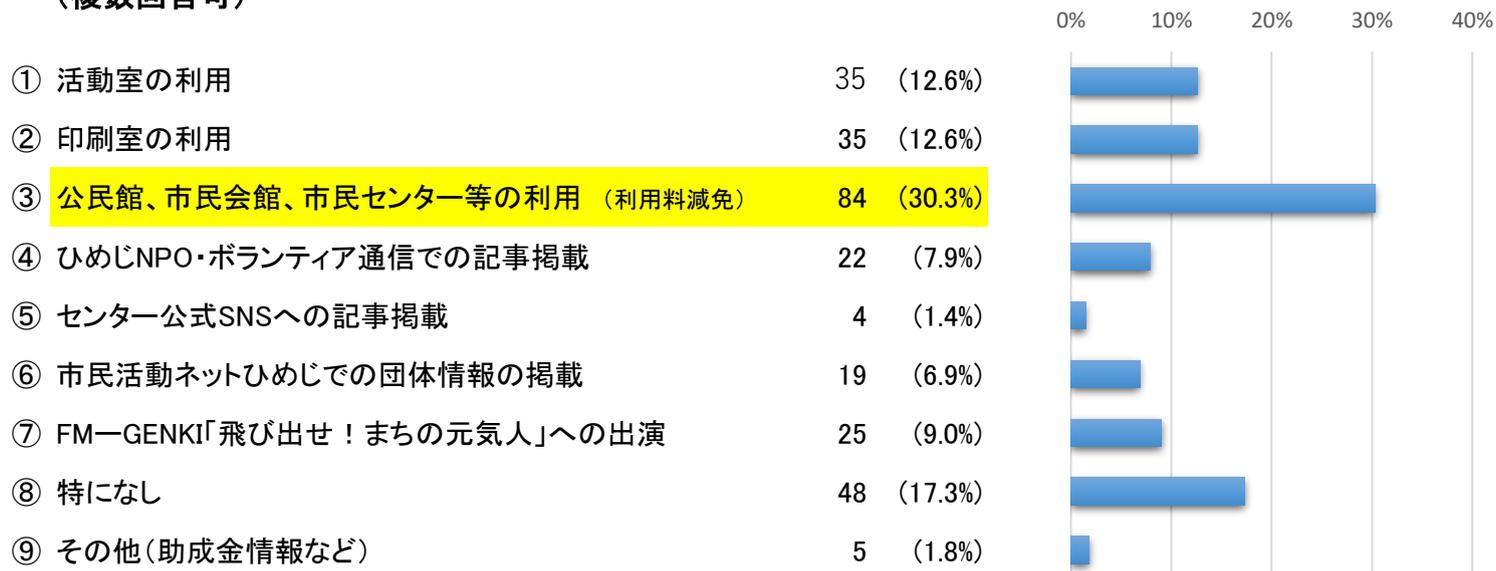
- ・ 福祉で老人ホームなどで歌をうたうボランティアをしていたが、コロナで感染の恐れがあるので活動できない。
- ・ 企画したイベントへの参加者集めにいつも苦労している。イベント案内の掲示板のようなサイトがあると便利です。
- ・ 少子化の中、スポーツや習い事が多く「海」に興味を持つ子どもが少なく、人数が増えないこと。(特にコロナ以降顕著)
- ・ 法人活動の会員の開拓。

#### (その他)

- ・ 親の会なので、スタッフも団体運営特に外部との連携や広報・参加・交流などが難しい。専門性を持った理解者・支援者が欲しい(障害福祉関係)
- ・ 会話ツールを、ワープロからパソコンに変えてきたが、パソコンを十分使い切れない人には、会話ツールにならず。60才程で老化が進み、言葉の聞き取りがより困難になり、入力文書には意味不明の文言が並び、対応に苦労している。(障害福祉関係)
- ・ デイサービス、学童保育、保育所と幅広い方面で活動しているため、年間の曲数が多いことが問題点。歌う曲ばかりでなく、リズム体操なども工夫して入れてみたい。(音楽関係)
- ・ 会員の高齢化で移動手段に限りがある。
- ・ 地元の自治会が無関心なのが寂しい。(公園整備)
- ・ 行政ができないことを市民グループがやっているにも関わらず、行政が関心がない。活動内容を知らない、認可権を与えて報告書を提出させるだけでそれをどう活用し行政に活かしているのか全く分からない。職員の手間を増しているだけのように思う。(観光ガイド)

### Ⅲ 市民活動・ボランティアサポートセンターの事業等について

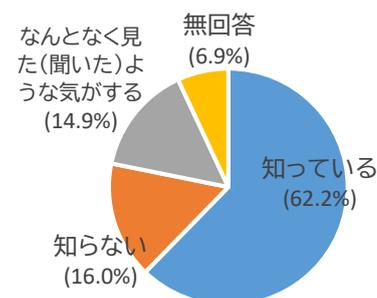
Q14 市民活動・ボランティアサポートセンター(以下「センター」という)では、登録団体にさまざまな支援を行っています。その支援の中で、利用しているものはありますか。  
(複数回答可)



Q15 令和5年度から始まった「ひめじdeボランティア(ひめボラ・ひめボラ市)」についてお聞かせください。

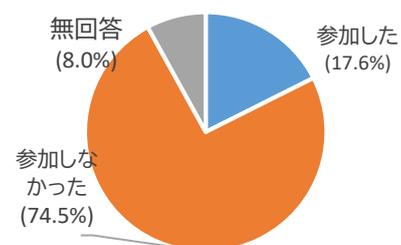
(1)「ひめじdeボランティア(ひめボラ・ひめボラ市)」をご存じですか。

① 知っている	117	(62.2%)
② 知らない	30	(16.0%)
③ なんとなく見た(聞いた)ような気がする	28	(14.9%)
④ 無回答	13	(6.9%)



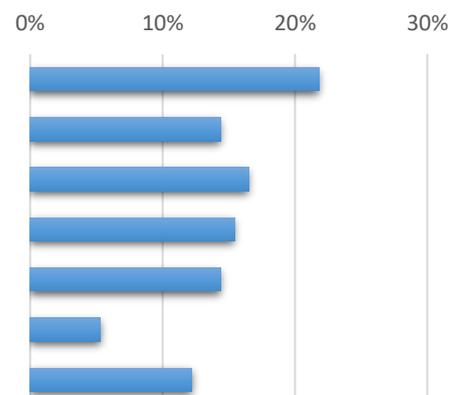
(2)「ひめじdeボランティア(ひめボラ・ひめボラ市)」に団体として参加されましたか。

① 参加した	33	(17.6%)
② 参加しなかった	140	(74.5%)
③ 無回答	15	(8.0%)



(3) (2)で参加しなかったと答えた団体様にお尋ねします。その理由をお聞かせください。  
(複数回答可)

① 日時の都合がつかなかった	41	(21.8%)
② 体験ボランティアの受け入れ態勢が整ってなかった	27	(14.4%)
③ (人的、経済的に)負担が大きいと感じた	31	(16.5%)
④ 団体にとってのメリットがあまり感じられなかった	29	(15.4%)
⑤ その事業を知らなかった	27	(14.4%)
⑥ (ひめボラ市)野外イベントなので、参加しなかった	10	(5.3%)
⑦ その他	23	(12.2%)



・ 昨年は初めてなのでわかりませんでした、今年は出演を検討しています。

- ・高齢化による意識の低下。
- ・その日は他のイベントと重なっていることが多い。
- ・イベント等でガイドボランティアに興味があり英語力がある人を見つけるのは難しいと思うから。
- ・コロナもまだ続く中、私たちの演奏を大勢の前でする意義があるのか。今やっている2つは伝統を守る意義がある。
- ・昨年度は個人ボラとして参加し、今年度は団体として参加する。
- ・活動趣旨と違うため。
- ・どのように関わればいいのか、具体的にわからなかった。
- ・以前、体験受け入れをしましたが、希望者ゼロでした。活動内容上、無理だと思いました。
- ・現在のメンバーでちょうどいいグループなので。
- ・募集時、まだ団体登録をしていなかった。
- ・第1回目を見てから決めようと思っていた。
- ・自分たちの活動で精いっぱいなので。
- ・相談員の顔は知られてはいけないので、参加は難しい。

## Q16 ひめじdeボランティアについて、ご意見やご要望があればご記入ください。

- ・メンバーが高齢者ばかりなので、移動手段も困難。現状の活動以上は難しく現状維持に努めたい。
- ・募集の手順を丁寧に教えてくださり、それを見た大学生3人が植栽の手伝いに来てくれました。とてもうれしかったです。また、次々とご案内していただき、電話でも適切に教えてもらい感謝している。
- ・いろいろなPRを通じて広く市民に発信していくことが大事だと思う。
- ・ひめボラ市は駅前開催だったので、多くの方に見ていただけて良かった。ひめボラは、興味を持ってくれる方がメンバーになってくれて大変良かった。
- ・集客しにくい市民会館「ひめじおんまつり」から、にぎわいの多い姫路駅前「ひめボラ市」に変更となり、特設の野外ステージで良かった。
- ・昨年、1日のみでボランティアさんを受け入れた。初めてのことで、受け入れ側の準備も充分でなかったので数時間の関りだったが、ボランティアさんの満足度がどうだったか疑問に思う。1日のみ、それも数時間では難しいと感じた。また、フィードバックもなかったので今年度は参加しなかった。
- ・自閉症児・者のボランティア参加や募集はなかなか難しく、参加できるイベントもコロナ後の自粛続きで参加できずに申しわけない。
- ・夏ボラで参加希望者が多かったため、職員の負担が大きくなった。そのため受け入れ人数の調整をしている。
- ・いろんなボランティアグループに参加していくということを企画してほしい。
- ・市民会館のひめじおんまつりよりも幅広い方々にステージやブースを見ていただけているようで良いと思います。
- ・一人でも受け入れたいと思っているので、今後ともよろしくお願ひします。当協会は月末に活動しているが、日程を8月と設定された場合が1回だけの活動になってしまうので、7月末から8月末にさせていただけるとありがたい。
- ・今後機会があれば参加を希望する。
- ・相談員の顔は知られてはいけないので、参加は難しい。
- ・お知らせをいただいたらできるだけ参加させていただこうと思うが、どのような内容のものがいつ開催されるかももう少し早く知りたい。できれば年間計画をたてる年初に知りたい。
- ・数年前にひめじおんまつりに参加したことがあるが、メンバー各自の仕事が忙しくなり、まとまって大きなイベントに出る機会がなくなってしまった。これからは小規模の施設へのレクリエーションに参加希望。
- ・昨年度参加しました。駅前広場で通行人は多いのですが、ステージを見る人、体験ブースに寄ってもらえる人は極少数でした。参加団体も工夫が必要ですが、全体で集客をする工夫も必要かと思います。例えば、ステージで有名人のトークをするなど。
- ・いい企画を率先してくれて心強い。
- ・会の活動の様子を伝える良い機会なので参加したい。
- ・「ボランティア」をしたい有能な方が能力を発揮したいとご参加下さったが、「不登校・ひきこもり」「精神疾患・特性」への正しい情報がお伝え出来ず、ご理解が進まず申し訳ないことをした。

- ・ 沢山の人に「ボランティア体験して欲しい」。私たちは親子で出来る活動なので、一緒に楽しんで欲しい。
- ・ ひめボラに、体験者有り、入会された。大々的なPRの成果と思います。
- ・ ひめボラ市は、地下通路のブースまで足を運ぶ人は少なかった。我がブースを目当てに来られた人がお二人。

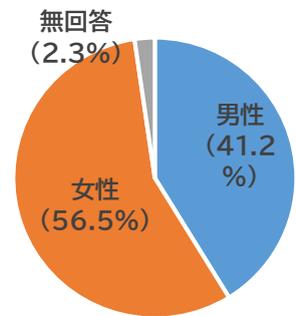
## Q17 最後に、センターへのご意見やご要望があればご記入ください。

- ・ センターのLINEはすごいと思う。参加者募集がLINEで流されると、1時間もしないうちに、申し込みがあった。本当に素晴らしいシステムだと思う。このシステムを継続し、LINEの登録者の拡大を図って欲しいと願っている。
- ・ 日々の業務 姫路市からの委託業務や地元団体との協働であつという間に15年という年月が過ぎた。やはり、運営側から意見を言わせていただくとNPOが単なるボランティア団体ではなく、零細だが、一企業であると認めてほしい。何とか地位向上に向けてのアピールをして頂きたい。
- ・ 今後も継続して活動して行かれることを希望する。
- ・ ボランティアの活動先を見つけるのが難しいので紹介していただけるとありがたい。
- ・ 演武会など協力できることがあれば、協力したいと思っている。また声かけしていただけたらありがたい。
- ・ 公民館等の使用料を負担してくださってありがたい。
- ・ これからも様々な情報をよろしくお願いします。
- ・ 無料駐車場があると良い。
- ・ 印刷利用が助かっている。公民館の減免もありがたい。これからも援助よろしくお願いします。
- ・ いろいろな企画を楽しみにしてる。
- ・ ひめボラ市のような出演の機会を増やしてほしい。秋のひめボラ市に対して、春に無料駐車場のある花の北市民広場あたりで開催などはどうか
- ・ ボランティア手帳の配布を以前のようにセンターでしてほしい。社協配布のものにはボランティア団体の記載がないため、施設や自治会からの依頼が少なくなった。
- ・ いろいろ相談に乗っていただいて助かっている。
- ・ 観光業は姫路市にとって期待できる産業であるのに、どう成長させるのか全くビジョンが見えない。
- ・ いつも笑顔で対応してくれて、行きやすい雰囲気助かる。
- ・ NPO設立当初、大変お世話になった。必要な情報はもちろん、頼れる機関であり、思いやりを持って様々対応いただいたことが心強い。現在、活動に関して利用することが少ないが、今後ともよろしくお願いします。
- ・ 毎回、情報提供感謝している。今後ともお世話になりますが、よろしくお願いします。
- ・ お世話になります。忙しさとメンバーの高齢化でいろんなイベントに参加できず申し訳なく思っている。
- ・ いつもありがとうございます。印刷室使いやすく、広報も見やすく助かっている。
- ・ 本年11月にイベントを企画しているので、情報発信に協力頂きたい。
- ・ 活動をいつも支えてくださり、ありがとうございます。養成講座の告知など、お世話になりますが、よろしくお願いします。
- ・ 姫路市から助成金、補助金を出してほしい。現在の活動は県からの補助金と自治会からの補助金のみ。
- ・ ボランティア通信はもう少し発行回数を減らすとか、ページ数を増やすとか工夫はできないものかと思う。前のひめぼら後の交流会のようなものはあれば参加したい。その時の意見が反映されてデジタルスタンプラリーが実現したのでは？とても嬉しかった。

# — 個人編 —

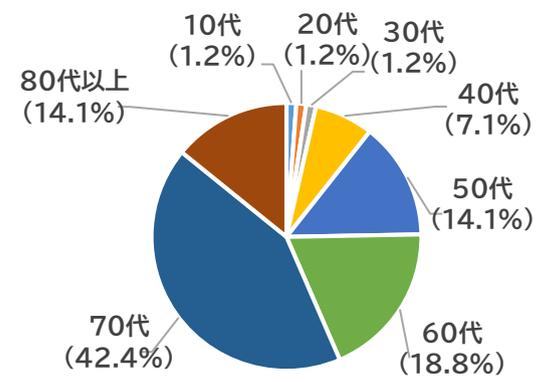
Q1 該当する性別を選択してください(任意)

男性	35 (41.2%)
女性	48 (56.5%)
無回答	2 (2.3%)



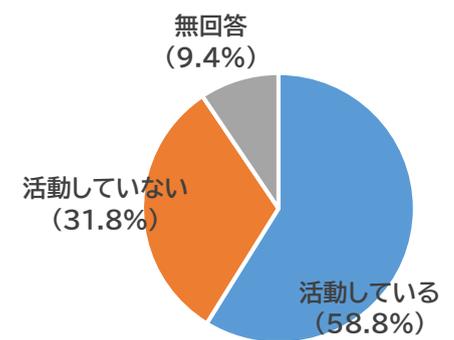
Q2 該当する年齢を選択してください

① 10代	1 (1.2%)
② 20代	1 (1.2%)
③ 30代	1 (1.2%)
④ 40代	6 (7.1%)
⑤ 50代	12 (14.1%)
⑥ 60代	16 (18.8%)
⑦ 70代	36 (42.4%)
⑧ 80代以上	12 (14.1%)



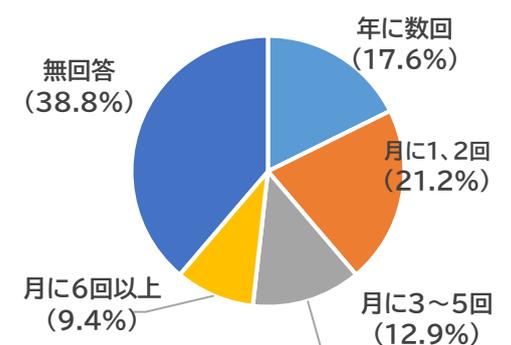
Q3 現在、ボランティア活動をされていますか。

① 活動している	50 (58.8%)
② 活動していない	27 (31.8%)
③ 無回答	8 (9.4%)

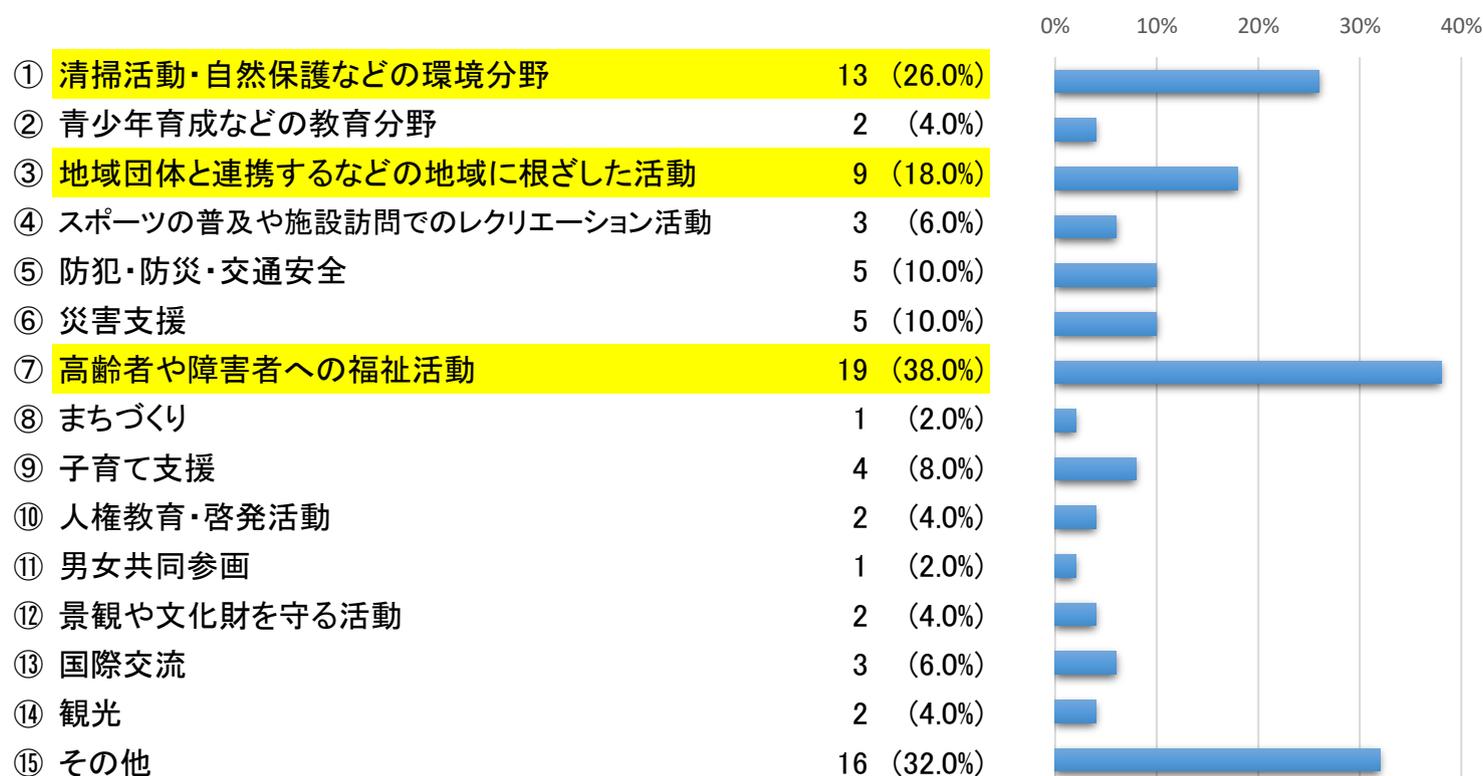


Q4 普段、ボランティア活動はどれくらいの頻度でしていますか。

① 年に数回	15 (17.6%)
② 月に1、2回	18 (21.2%)
③ 月に3~5回	11 (12.9%)
④ 月に6回以上	8 (9.4%)
⑤ 無回答	33 (38.8%)

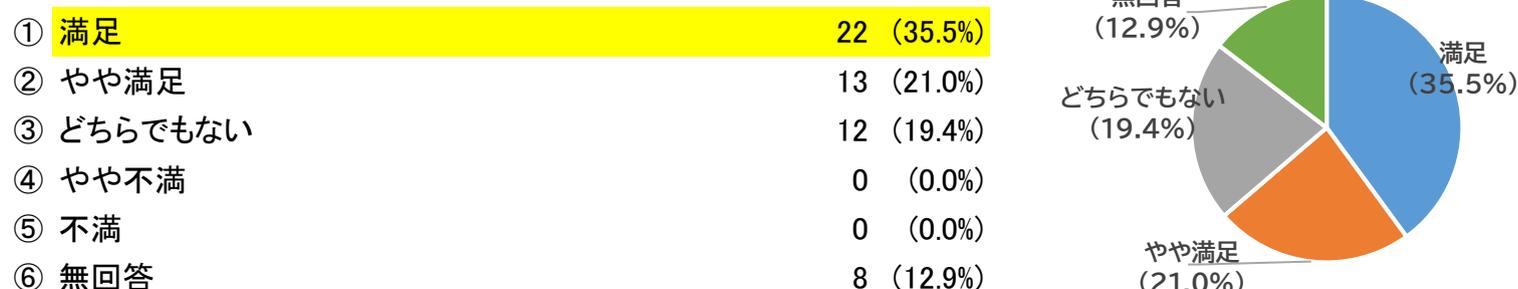


### Q5 活動されているボランティアはどのような分野ですか。(複数回答可)



(紙芝居、傾聴、食育、災害ボランティア、フードバンク、六甲縦走大会のボランティア、落語、姫路市立水族館、日赤で案内ボランティア など)

### Q6 活動されているボランティアについて、どの程度満足されていますか。



### Q7 Q6の問で、1満足・2やや満足を選んだ方にお尋ねします。

どのような点が「満足・やや満足」に思われましたか。

- ・ トイレ磨きをするとピカピカに美しくなり、私自身の心も磨かれたようなすがすがしい気持ちになる。
- ・ 災害支援について、社協がバックアップしてくれるので、安心安全な活動ができる。支援は継続が必要。
- ・ 長いかかわりにより、自閉症の方が自ら進んで話される。高齢の方も問題を抱えているが、話す度自己分析されて前に進まれる成果には満足。同じ話の繰り返しに対し、自分の聴き方のまずさに満足がいかない。
- ・ ごみは毎日落ちています。本当の心のボランティアを心がけて20年。その姿を見て、ひとりでもごみのポイ捨ての意味を訴えたい。保育士や養護施設職員として良い人生を過ごし、今は毎日のボランティアの日々を送っている。
- ・ 特に観光客を中心にボランティアをしています。笑顔や「ありがとう」とお礼を言われた時。
- ・ 私の主な活動は、在日ベトナム人の教育支援と人権啓発の講演であるが、長年の積み重ねで人間関係を構築した人たちが多数できたこと。
- ・ 皆さんに喜んでもらえるから。

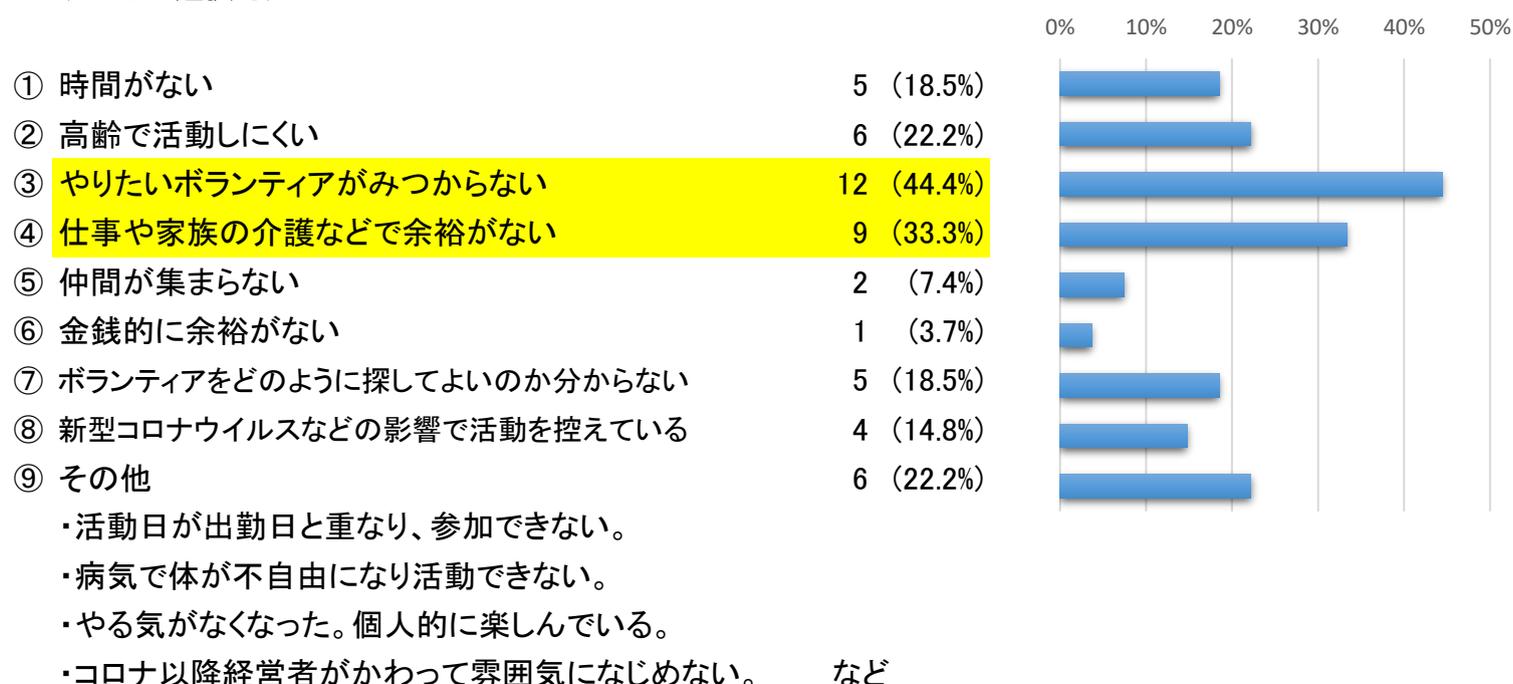
- ・ 国際交流、食育を通じて人との交流ができること。
- ・ 所属するハイキングクラブのメンバーと、清掃しながらハイキングしている。個人的には名古屋墓地やトンネル車寄せ地のゴミ拾いを月に2回ほどしている。自分で納得しているので満足している。
- ・ 人生の学びをいただいている。
- ・ 参加された方々が喜んで作品などを持ち帰られたり、環境クイズなどの説明もしっかり聞いてもらえる。
- ・ 「姿を見ると安心する」と声をかけられると少しの手伝いでも喜んでもらえることができるので、もう少し続けたいと思うが、体力的・年齢的に少し無理になってきたなと感じている。
- ・ 趣味や興味に関する勉強にもなり、活動に目に見える成果がある。
- ・ 活動内容は広く人をサポートするようなもので意義を感じているが、自分の力量不足も感じているので、「やや」満足とした。
- ・ 時間的にも自己の知識等無理なく出来る。
- ・ 受講生の質問に答えるために勉強するため、自身のスキルアップにつながる。
- ・ 地域ごとに開催される行事や福祉施設等で平素落語をはかせてもらいますが、高座後は多々反省点が残る。反省点を参考に創意工夫を加えながら今後も依頼がある限り高座を務めていくが、活動に満足してしまうと進歩が止まるのでやや満足は常に努力して6割のお客さんが笑ってくださったらと感じる今日このごろ。
- ・ 同年代の方たちと話ができる事と同時にこれからの健康管理の知恵、経験のヒントを話し合える。皆がそれぞれ頑張っている姿を見ると自分も頑張らねばと力をもらう。

Q8 Q6の間で、3やや不満・4満足を選んだ方にお尋ねします。

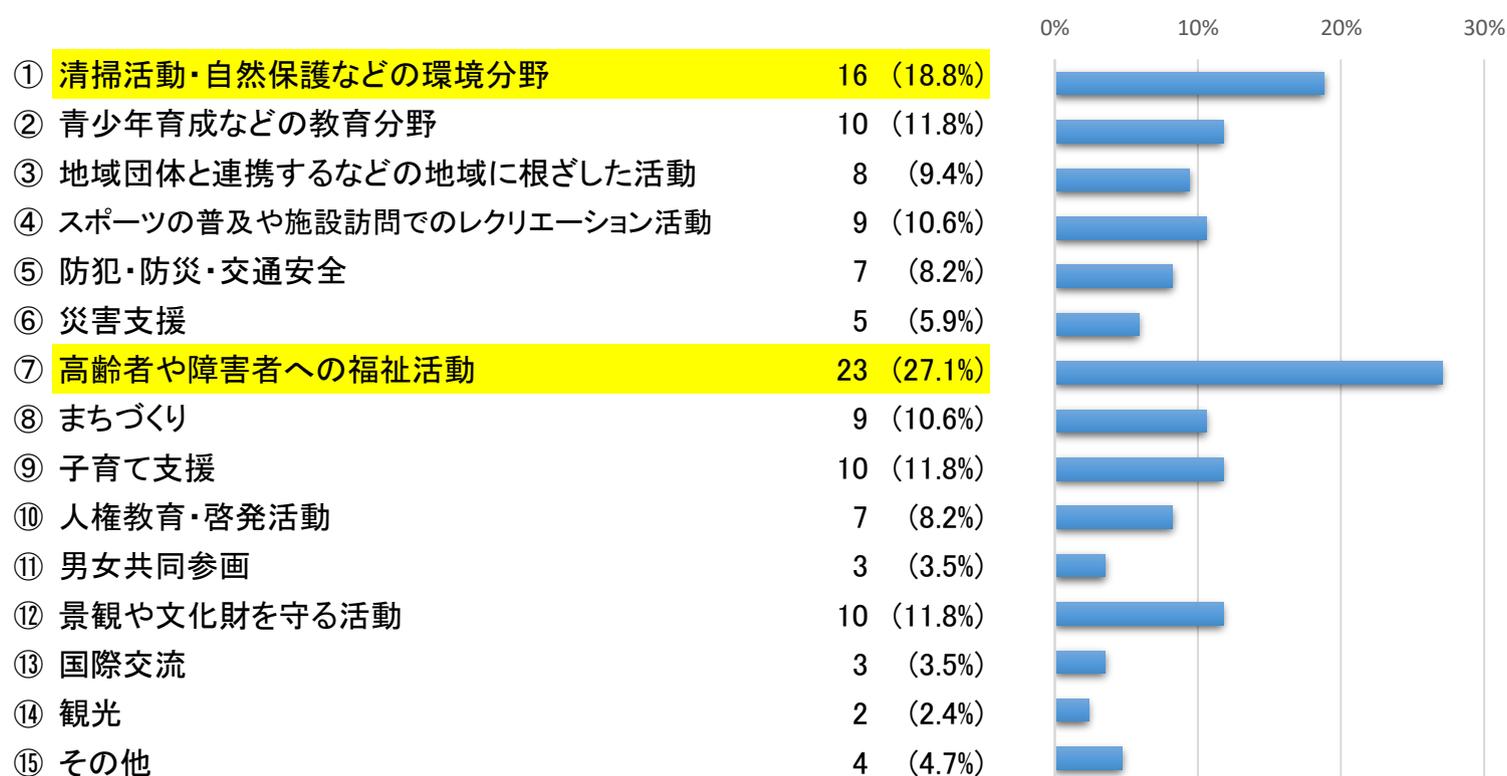
どのような点が「やや不満・不満」に思われましたか。 → 該当者なし

Q9 Q3で活動していないと答えられた方にお尋ねします。その理由をお聞かせください。

(2つまで選択可)



Q10 今後、活動したいボランティアがあれば○をご記入ください。(複数回答可)



(健康に関すること、将棋の普及、傾聴、リユース・リサイクル)

Q11 活動を継続していくうえで、困っていることや悩みなどがあればご記入ください。

(年齢など)

- ・ 自分が年を重ねることで、活動範囲が限られてくる。活動の場所をどこにするか迷っている。
- ・ 高齢であっても不都合なく生活しています。しかし、いざボランティアに参加しようとする周辺の人が逆に気を使うのではないかと気がなります。
- ・ 年齢的、体力的に活動が難しくなっている。

(資金など)

- ・ 資金不足
- ・ 活動に使う除草剤の値段が高い。
- ・ WINWINの関係が成り立たないことが多いこと。金銭的負担はこちらにばかりくる。ボランティアをしてもらってあたりまえやってもらってあたりまえ的な感情が主催者に見える。

(人間関係)

- ・ メンバーの中で動かない人がいたときは、不満があったが、その方が辞めたので今は問題ない。
- ・ 人間関係

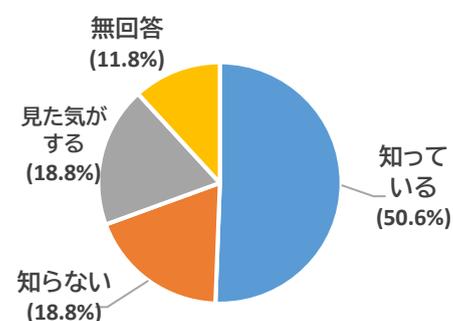
(その他)

- ・ 情報が少ない、見える化・災害支援での少なさ・グループ構成化、連携強化・いざという時の体制・縦割り行政をなくす、1本化する。
- ・ 車からのポイ捨てが多すぎる。運転する人のマナーが悪すぎる。
- ・ いろいろな人と関わりたいが、自分が車椅子で動くのが困難なため、続けていけない。
- ・ 今は家族の介護中で時間がなくて活動できないが、気持ちは持っているので情報はほしい。
- ・ 市の公務員の方々の真剣さが伝わる。人口減少の中で100%の答えはないと思うが、地域はみんなで作るものだと思うので、地道な活動と広報活動を期待する。
- ・ 場所の確保

Q12 令和5年度から始まった「ひめじdeボランティア(ひめボラ・ひめボラ市)」についてお聞かせください。

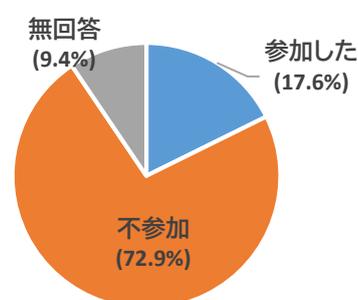
(1)ひめじdeボランティアを知っていますか？

① 知っている	43 (50.6%)
② 知らない	16 (18.8%)
③ なんとなく見た(聞いた)ような気がする	16 (18.8%)
④ 無回答	10 (11.8%)



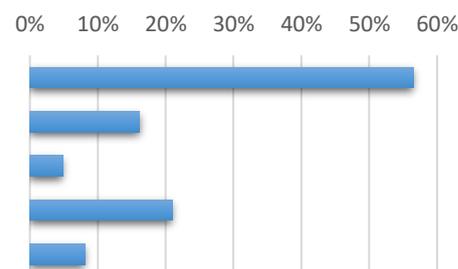
(2)ひめじdeボランティア(ひめボラ・ひめボラ市)に参加されましたか？

① 参加した	15 (17.6%)
② 参加しなかった	62 (72.9%)
③ 無回答	8 (9.4%)



(3)参加しなかった方にお尋ねします。その理由をお聞かせください。(2つまで選択可)

① 日時の都合がつかなかった	35 (56.5%)
② 興味がなかった	10 (16.1%)
③ メリットがないと感じた	3 (4.8%)
④ その事業を知らなかった	13 (21.0%)
⑤ その他	5 (8.1%)



Q13 「ひめじdeボランティア」について、ご意見やご要望があればご記入ください。

(良い感想)

- ・ 強制感なく、繋がりを意識してよかったと思う。
- ・ 参加者が大勢で楽しく活動できてよかった。
- ・ 良い企画があれば、また参加したい。
- ・ 今後も継続してもらいたい。
- ・ 去年のひめボラに参加できて良かった。現在は時間の余裕がないが、時間があればまた参加したい。
- ・ 私が住んでいる相生市と比べて姫路市はすべてのことでスケールが大きいので、その点、心が広がって楽しい。
- ・ 約10年前にひめじおんまつりの運営に参加させていただき、姫路市民の方のボランティア活動を実感させてもらったのは、とても良かったと思っている。

(改善提案・要望)

- ・ 何時も同じなので、新鮮味がほしい。
- ・ 情報発信してほしい。
- ・ 以前のようなひめじおん祭りのような市民会館をメイン会場としたものを復活してほしい。
- ・ 以前はひめじおんまつりに参加していた。イーグレ地下のブースで広く使用できたが、最近狭そう。

- ・ 昨年、はじめて参加した。受け入れ側がいろいろ気遣いされ、受け入れも大変。受け入れていただいた私もこんなんで良いのか一寸戸惑いがあった。(本当にボランティア入門なのか?)
- ・ さらにブラッシュアップされることを期待している。

#### Q14 最後に、センターにご意見やご要望があればご記入ください

- ・ 開かれたセンターへ。いつでもオープン、いつでも明るく楽しくでお願いします。
- ・ これからもますますの発展がありますように、心から願っております。
- ・ 少人数でよく頑張っていらっしゃると感心しています。社協と重なることも多くあると思うので、連絡を密に頑張ってください。
- ・ たくさんの人が参加できるような活動を企画してください。
- ・ 高齢であまり活動できませんが、企画等情報をみるのが楽しみです。
- ・ 高齢化社会と言われていています。できればその現状のいろいろなニュース等を知らせてくれるといいと思います。一人住まいの者に必要な事柄、特に身近な事柄を少しでも書いていただくとありがたく思います。
- ・ 夏ボラのSNSでのレポートが素晴らしかったです。今後もいろいろ楽しみにさせていただきます。
- ・ 清掃は清掃の仕事といった考え方をこえて、共同作業によって学ぶことは、人のためが自分のために変化するという現象が起こるのはボランティアの良さであると考えます。楽しいと思うことがあれば心が動き、人命にもつながる大事なことです。
- ・ 気力・体力があるうちは、今現在できることをやろうと思っています。
- ・ ボランティアをする側の心得的な話はよく聞けるが、ボランティアをされる側の心得的な話が聞けると違うと思う。
- ・ 私は85歳になりますが、現在まで病気にもかかわらず元気に動き回っています。今後も健康に留意しつつボランティアも積極的に楽しんでやっていきますので、私にできることがあればどんどんご下命ください。
- ・ 宣伝や広告を公共機関で見ない。
- ・ いつもお世話になって、本当にありがとうございます。
- ・ 経費削減のため、基本WEBベースの広報活動にされてはどうか。
- ・ ボランティアの必要性、意義や参加者のメリットなど双方にとって意味あることを積極的に伝えてほしいです。Youtubeや各種SNSなどを最大限に使って、姫路の歴史的・地理的な魅力が先代の遺産として存在し、それを今に活かして次世代に繋げましょう、みたいなストーリーで訴求すればより良い地域になるように思えます。
- ・ 昔はボランティア手帳や姫路ボランティア証が有りました。今は無いのでまたボランティア手帳やボランティア証を復活してもらいたい。